

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	思いや意向の把握に努めているものの今での生活歴や馴染みを知る必要がある。	生活歴や馴染みを知ったうえで一人一人の思い、意向の把握を行う。	日々の係わりから思いをくむことはもちろん、スタッフ全員でアセスメントを行い本人の視点にたつ。又、家族の協力を得て取り組む。	4ヶ月
2	19 (51)	家族も一緒に過したり、ケアの相談をしたりはあまり出来なかった。	家族を支援される一方の立場に置かず、行事やケアの相談など共に考えていく。	本人と一緒に家族を行事に誘ったりスタッフと家族とで本人の誕生日の相談をする。その他、サービス担当者会議へ参加してもらう。	10ヶ月
3	33	早い段階からの本人や家族と重度化した場合の話をもちたいと考えているが行えていない。	法人としての指針を明確に出来るようにしながら、家族と医療側との話す機会をもうける。	施設会議、管理者会議にて法人としての指針の明確化について提案していく。家族や医療側とはサービス担当者会議の参加や話す機会をもつ。	6ヶ月
4	1	自分達のやるべき事を日々考え、利用者本意のケアを目指しているが、地域密着になってからの意義を踏まえた理念作りはできていない。	ケアそのものの中では本人の地域というのを頭に置いているので指針となる理念を再構築する。	理念の重要性をスタッフ全員が理解し、自分達の言葉で理念の再構築を行う。	1ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。